

有なども含む)が所有する近世以前(必要に応じて明治前期も含める)の古文書等(古記録、古典籍類を含む)を対象とし悉皆調査を原則とする。ただし既に地方公共団体又は大学等の機関がこれらの調査を実施し、その所在が確認されたものについては対象外とすることができる。

ウ 調査の実施

調査は福島県教育委員会が財団法人福島県文化センターに委託し実施するものとする。

エ 調査方法

調査方法は昭和50年7月17日付文化財保護部長裁定の「古文書等所在確認調査要項」に準ずる。

オ 調査の内容

古文書等の名称、頁数、時代、内容、保存状況、保存場所、その他の事項を調査し、所定の調査カードに所有者別、又は所在の場所別に記載する。

カ 本年度の調査状況

調査は昭和53年、54年度の2か年継続。

⑤ 民俗文化財調査

ア 目的

最近の産業経済の発展や社会構造の変移によって、伝統的な生活様式や風俗習慣が急変し、有形・無形の民俗文化財は急速に失われつつあるので、全県の実態を調査し、保護対策の基礎資料としての調査票を作成する。

イ 調査期間

昭和53年4月1日から昭和54年3月31日まで。

ウ 調査地域

県内全域から調査地100か所を選定して行った。

エ 調査員

主任調査員として、県文化財保護審議会委員岩崎敏夫氏など5名、調査員として、県内の民俗研究者64名を委嘱。

オ 調査事項

総観、調査地要図、衣・食・住、生産、運輸・交易、社会生活、信仰など。

カ 昭和54年度は50か所の調査と分布地図の作製を予定。

⑥ 天然記念物(カモシカ)緊急調査

ア 目的

特別天然記念物カモシカの生息状況を吾妻山系を中心に調査し、その保護と農作物等の被害に対する対策のための基礎資料を作成する。

イ 調査期間

昭和53年5月1日～昭和54年3月10日

ウ 調査員

蜂谷剛(県文化財保護審議会委員)ほか10名。

エ 調査内容

(ア) 調査地域の地形及び植生、食物の調査

(イ) カモシカの分布状況

(ウ) 林・農作物の被害状況

(エ) 調査地域の気象条件

オ 報告書

昭和53年度、福島県文化財調査報告書第75集「特別天然記念物カモシカ調査報告書」として刊行。

(3) 文化財保存の充実

① 文化財保存事業

ア 国指定

事業区分	補助事業者	種別	名称	事業内容	所要額			
					総額	国	県(A)	地負
建造物保存修理	桑折町	重文	旧伊達郡役所	半解体修理	60,000	(50) 30,000	10,000	20,000
〃	保存会	〃	旧福島県尋常中学校本館	〃	60,000	(80) 48,000	4,000	8,000
古文書調査	須賀川市		須賀川町会所組織運営	調査	1,000	500	160	340
記念物環境整備	いわき市	史	白水阿弥陀堂境域	復元・整備事業	20,000	(50) 10,000	3,330	6,670
〃	保松会	名勝	会津松平氏庭園	土止、その他	3,730	(50) 1,865	620	1,245
記念物保護増植	隠津島神社	天	木幡の大杉	樹勢回復	1,600	(50) 800	260	540
史跡等買上	須賀川市	史	米山寺経塚群	土地買収	28,873	23,098	1,920	3,855
〃	いわき市	〃	白水阿弥陀堂境域	〃	66,906	53,524	4,460	8,922
無形民俗文化財	保存会	市無民文	御宝殿稚児田楽風流	公開・養成	1,657	828	270	559
歴史民俗資料館	白河市		白河市歴史民俗資料館	建設	108,290	4,000	4,000	100,290
無形民俗文化財	保存連合会		津島の田植踊り	現地公開	700	定 300	130	270
歴史民俗資料館	金山町		旧五十嵐住宅	移築等	22,550	4,000	6,180	12,370
国有文化財管理	いわき市		賢沼ウナギ生息地	管理	125	99	0	26
〃	新地町		新地貝塚神社跡	〃	136	108	0	28
埋蔵文化財	二本松市		郡山台遺跡	発掘調査	3,000	1,500	500	1,000
〃	郡山市		清水台遺跡外	〃	5,000	2,500	830	1,670